

●生活・法律相談は

- ◆市議会議員 高野 とも (7155)1683
- ◆市議会議員 いぬい紳一郎 (7159)2773
- ◆市議会議員 小田桐たかし (7154)0878
- ◆市議会議員 安西 孝之 (7148)6870
- ◆元市議会議員 若王子博夫 (7159)0861
- ◆元市議会議員 せのお七重 (7146)0691

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2004年7月
第142号
編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688
TEL/FAX (7157) 6140
E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp

草の根の力で **さらに** がんばります



入札中止になった6億5千万の入浴施設

今こそむだづかいをやめさせましょう

6億5千万円の入浴施設(地域融和施設)に市民の批判が高まるなか、流山市は、5月21日入札実施の予定で準備をすすめてきました。ところが、当初参加を希望していた6社のうち5社が入札を辞退。競争入札は成り立たず、入札中止に追い込まれたのです。

住民の運動と日本共産党のガンバリで新たな展開に

今回、入札中止となった背景には、計画の抜本的見直しを求める市民の願い、短期間で1225筆の署名を集めた住民運動と日本共産党の奮闘がありました。前市長の時から3回連続で入札中止という異常事態です。「地元の要望」「余熱利用」とした根拠もなくなりました。今こそ、市民世論を大きく広げ、ムダづかいをやめさせましょう。

年金改悪、消費税増税、憲法改悪を許さない 国民中心の新しい政治の流れを



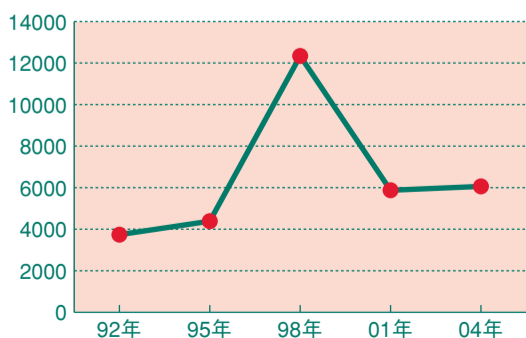
7月11日投票の参議院選挙で、日本共産党は4議席にとどまるといふ残念な結果となりました。しかし私たちが、日本の政治の歪みを大本から正す本物の改革の道を示し、新しい政治の流れを進展させようと訴えたことは、正しいものと確信しています。

当面する年金問題、消費税増税、憲法九条改悪など、どれをとっても自民党と民主党は同じ立場にたっています。



	全国	千葉県	流山市
比例得票数	4,362,551	179,014	6,061
得票率	7.80	7.25	9.03
選挙区得票数	5,520,141	288,072	8,969
得票率	9.80	11.90	13.71

流山市の参院比例における日本共産党の得票数



新ゴミ焼却場の外壁破損事故

国会議員、市議団が現地視察

第三者による事故調査を約束



5月28日、新ゴミ焼却場の外壁が破損する事故が発生。溶融炉に酸素を供給するための酸素発生装置減音室における、荏原製作所による単純ミスが原因です。市議団は、この事故の重大性を議会でも指摘し、市長への緊急要請や日本共産党の岩佐恵美前参院議員との視察・調査を行い、原因の徹底究明と情報公開などを強く求めました。

荏原製作所によるガス化溶融炉は、全国で流山市が三番目。今回事故を起こした減音室は、荏原では初めての試みでした。市当局も、事故を重大問題として受け止め、日本共産党が要求した第三者による事故調査委員会の設置を約束しました。今後も市民や議会の厳しい監視が必要です。

流山でも「国保を良くする会」結成へ

いのちと健康を守る国保制度を と一緒につくりましょう



市議会議員
高野 とも



市議会議員
いぬい 紳一郎



市議会議員
小田 桐たかし



市議会議員
安西 孝之

くらし・福祉切り捨て、環境破壊ではなく いのちと健康、子育て、身近なまちづくりを応援する政治を

「市政を変えて」との願いを受けた井崎市政が誕生して一年。深刻な不況と小泉「構造改革」の痛みを押し付けられてきた市民にとって、果たして市政はどのように変わろうとしているのでしょうか。日本共産党は6月議会で、その問題点に迫りました。

「行財政改革」

児童館職員削減、私立幼稚園支援、 中小企業融資の補助金までカット

今後2年間で65億円の財政不足が見込まれると発表した市長は、徹底した財政削減のための『行財政改革』をすす

め、市民の福祉やサービスが後退の危機を迎えています。子育て支援の地域拠点として重要な役割を果たしている児童館では、5700筆を越える職員削減反対署名を無視して、正規職員を削減。子どもも母親も楽しみにしていた

『幼児グループ』の運営に支障をきたしています。また、私立幼稚園就園補助金や中小企業融資の利子補助金など、本来行政の仕事として欠かせない補助金について検討を始め、実質カットしていく方向です。真の『行財政改革』とは、市民のための改革であるべきです。

環境破壊

「なぜ、住宅地に幅32m東葛一の 巨大大道なのか」

『都市軸道路』は、新線沿線・巨大開発の中で国道に準じた中核的街道とされています。幅32mは、国道16号や国道6号よりも広く、東葛地域

常磐新線・巨大開発

TBSテレビも報道 区画整理事業の破たんぶり

5月30日、『噂の東京マガジン』(TBSテレビ)が、新線沿線の木地区区画整理事業について報道しました。地価が3割も下落し、県住宅供給公社が事実上破たんした今、過大な人口予測やバブル時代の開発計画の見直しが急がれています。ところが、市長も日本共産党以外の議会各党・会派も、あいかわらずこの巨大開発を推進しています。日本共産党市議団は、「現時点で試算した場合、市内沿線4地区で400億円程度の赤字が生まれる」と指摘し、規模縮小も含めた計画の見直しを求めました。



市民の立場にたった 本当の改革を進めます 日本共産党

常磐新線沿線巨大開発に対する市負担は、わが党の試算で840億円。その1割を見直せば、国保料の引き下げはもちろん、児童館の拡充も、幼稚園支援の充実もできます。河川の改修、下水道の整備ができ、市内零細業者の仕事も増やすことができます。巨大開発のムダづかいをやめて、福祉やくらしに税金を回すことこそ、市民の立場に立った本当の改革といえるのではないのでしょうか。日本共産党は、引き続きみなさんと力を合わせ、本当の改革へ全力でがんばります。

国保料通知に市民の 怒りが殺到!

今月16日、国民健康保険の納付通知書が發送され、「こんなに値上げされたら、保を良くする会」の結成をもう払えない」との声があがっています。保険料の引き上げは、5年間で3度目となり、今年度は、総額4億円にも…。低所得者ほど重い負担になっています。高すぎる保険料のため、滞納者は全加入世帯の38%に増加。約800人が資格証明書(医療費全額負担)となり、市民のいのちと健康に深刻な影

